

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第20号



大熊集落の秋葉さん

【以西ふるさとめぐり⑥】 《大熊の秋葉さん》

以西地区では7集落に「秋葉さん」が祀られています。正式には秋葉三尺坊大権現といわれています。権現様は仏様と神様の両方の性質を持つため、お寺のお札を納め神様のしめ縄を飾ります。

その功德は、①防火（失火と延焼と一切の火難を除く）②無病息災（病苦と災難と一切の苦患を救う）③心願成就（仕事と願いと一切の満足を与える）と言われています。

わら屋根の時代の火事は風向き次第であつという間に集落全部を焼き尽くす恐ろしいものでした。そこで秋葉さんの防火の功德をいただくために、集落を見渡す山の上に安置されています。

大熊の秋葉さんは、木製の橋の時代から大山橋の延長線上（村の山の真正面）に祀られています。観音開きの立派な祠で、台座には「此の地所、高力利平が寄附す」と彫られています。年末には各家庭が秋葉さんに足を運び、しめ縄を供え願いを込めます。

（※注）今までの「以西仏さまめぐり」を「以西ふるさとめぐり」と改め、仏像だけでなく様々なモノ・コトを紹介していきます。

お寺との付き合い方
講座「死の体験旅行」
活動紹介⑥・声
のんのんさま⑤
イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六六年 令和5年3月9日

■日本海新聞「潮流」のコーナーに、令和4年7月から月1回、計12回の連載を執筆中です。
今回は第8回目(2月10日掲載分)を紹介します。

✉ gakupei@nnn.co.jp

大みそから元旦にかけての年越し行事に参加された方から、こんな相談がありました。

「檀家でない行事参加者としてお世話になりました。行政主催の行事など違い、直接私費で支援されている檀家さんとお寺の關係に割り込む形での参加に、心苦しさを感じました。『新しい時代のお寺』をどう考えるのが正しいのでしょうか?」

多くのお寺は檀家さんによって、経済面でも信仰面でも支え守られています。しかし、江戸時代に政策として確立した檀家制度は、制度そのものが現代に合わないようになってきました。

お檀家は、お寺のある地域に住んでいることが前提であったのに、都市集中や過疎化の進行で、地域に居住しない離郷檀家が急激に増加し、お寺との縁が薄くなりました。菩提寺(檀家として所属しているお寺)という言葉も死語になりつつあります。

寄付や賦課金も、檀家だからという理由だけでは理解が得られにくくなってきました。時代に合わせ檀家制度を廃止したお寺が鳥取県内にも出てきました。

さて、最初の相談に戻ります。清元院のような少子高齢化、過疎化の真ただちにあるお寺では、お寺と檀家という硬直化した閉ざされた関係だけでは立ち行かなくなってきました。ですから、檀家



お寺との付き合い方

清元院住職 井上 英之



でない方がお寺に関わってくださるのとはとてもありがたいことで、お檀家さんも喜んでくださると思うのです。そこで清元院では、檀家以外の方にもお寺との付き合いのカタチを用意しました。

①信徒：住職による葬儀・法事のみを希望される方②永代供養会員：永代供養を契約し、信徒と同様に宗教儀礼を希望される方③お便り会員：「清元院だより」(寺報・年3回)の送付を希望される方。ゆるくお寺とつながります④てらとも：作業や行事のお手伝いをしてもいいよ！という方たちの集まり。お檀家でなくても構いません⑤はすとも：春先に50鉢のハスを植え替える仲間。レンコンを持ち帰り、交流サイト(SNS)で交流しながら各家庭でハスを育て花を楽しみます⑥イベント参加：座禅会、写経会、お寺ヨガ、お地蔵様作り教室など、月例等の行事に自由に参加できます。

お寺は元々、地域の文化センター、学校、イベント広場として、人が集う大切な役割を果たしてきました。それは現代でも同じです。檀家という枠にとらわれていては、お寺も地域も未来が先細ってしまいます。「うちのお寺は、檀家でない人もよつて来てほしいな、ええお寺だぞ」と檀家さんに自慢してもらえ、お寺を目指して、少しずつ進んでいきたいと思っています。

(琴浦町)

ワークショップ 仏教死生観研究会 認定講座

清元院で「死の体験旅行」が始まります

■期 日 令和5年 4/16(日)・7/16(日)・10/7(土)

■時 間 午後2時～4時

■参加費 一人3000円 ※清元院檀信徒は無料です

■定 員 各回6名

■場 所 清元院

直接住職へ090-4923-8768
SNSまたは清元院HP問い合わせフォームなど

この度、住職の私は、「死の体験旅行」の研修を受け講師として認定されました。

「死の体験旅行」とは、もともと海外のホスピス(終末医療施設)で始まったと言われているワークショップ(体験型講座)です。

誰もが自然に受講できるようにアレンジし、命を終えていく過程で、自らが感じる喪失感や苦しみ・悲しみを疑似体験します。

「悔いなく生きるとは何か」
「亡くなった方は何を思っていたのか」
「あなたにとって本当に大切なものは何か」

を感じたり考えたりします。

私たち人間は、死を恐れ、死を遠ざけて生きています。でも、必ずやってくるものを真摯に見つめることが、より良い生を送ることに繋がるのではないのでしょうか。

死の体験旅行は「本当の自分」と向き合う心豊かな時間なのです。

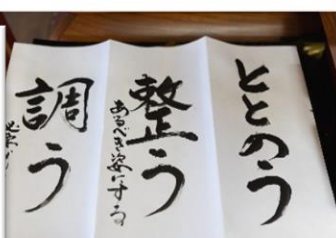


活動紹介⑥ 『お寺 de サウナ』 坐禅で調う×サウナで整う

読経 → 坐禅 → お寺カフェ → サウナ → ととのう



次回は10/14(土)
坐禅×サウナ×
コスモス畑です！



参加者の声

お寺に対する新たな認識が生まれました。体験して、体感して、心から楽しい出合いの場だと感じています。ご住職とテントサウナも一緒にでき、嬉しかったです。

この度は、本当にありがとうございました。

(参加者)

サウナへの理解と愛にあふれた方丈さんのご協力で開催できた「お寺 de サウナ」。初対面の参加者同士の会話や交流があり、ノリでなく落ち着いた、こんな雰囲気サウナイベントは初めてです。ただの場所貸しやサウナレンタルじゃない、主催者から参加者まで、みんなで作るサウナイベントでした。

参加者の皆さん、清元院さん、熱子さん、ありがとうございました。
(一向平 NatureSauna)

のんのんさま⑤ 元気な子どもたちを紹介 かがやく宝ほとけの子



(右) 河上 桃さん (9歳)
(左) 河上 蓮くん (13歳)

琴浦町大父

河上慎一さん、かおるさんのお子さん。

《お父さん・お母さんより》

気がつけば、長男13歳、長女は9歳になりました。学校やバレーやスポーツに何かと忙しい日々ですが、二人の頑張っている姿を見ることができて、お父さんお母さんは、とてもうれしく誇りに思います！！

ケンカが絶えない二人だけど、感謝の気持ちと思いやりを忘れず、楽しい毎日を過ごしてください★

お知らせ&Events

3/19 お地藏様作り教室

大人気のイベントです。コロナ禍に配慮し、二部に分けて本堂をゆったり使って行います。

■3月19日(日)

■午前の部 9時半～

■午後の部 13時半～

■各20名限定

■参加費 一人2200円



※ご希望の方は早めに申し込まれることをおススメします。

3/26 はすとも 大募集

■3月26日(日) 午後2時～

桜の花が咲く頃、ハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢です。ので、住職一人では大変です。

そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には蓮根をおすそ分けします。

みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか！

(※汚れてもよい服装で)



3/21 彼岸会塔婆供養

9時～15時まで

供養したい方のお名前を塔婆に書きし、住職と一緒にお経を挙げてご供養します。

(注)家族以外でも亡くなられたあなたにとつて大切な方、ウクライナで亡くなった方々など、どなたのご供養でもできます。何か気持ちを伝えたい方はおいでください。

◆塔婆一本千円

※終わったらお墓参りをして塔婆を立ててください。(お寺に立てるともできます)



4/8 花まつり」に集合

お釈迦さまの誕生パーティーです。

■4月10日(日) 10時～

法要・紙芝居・ビンゴゲーム

(※全員に景品あります！)

■「でこぼこしようちゃん」のあそびうたコンサートも♡

■終日

・甘茶飲み放題

・甘茶かけ

■お土産

・甘茶あめ

・花まつりサイダー



【報告】除夜の鐘&新年ご祈禱

久しぶりに雪のない除夜の鐘。約60名の参加。たくさん親子連れや懐かしい顔。恒例の年越しそばの振る舞いも大好評。

年を越した元旦0時から本堂へ。心を込めて三朝祈願のご祈禱をお勤めしました。さらに書院でお雑煮を食べて新年会。解散は午前1時半。

お寺で過ごす年越しは、年が改まったことを実感できると喜んでいただきました。



ホームページ 作りました!!

- 各種行事の情報
- 清元院の紹介/取組み
- 法要の申込み/問合わせ

ぜひ一度、のぞいてみてくださいね!

※情報はこのページの↓↓

◆七月までの行事

◇3月19日 お地藏様作り教室

(午前の部 9時半～)
(午後の部 1時半～)

※要申し込み

◇3月21日 彼岸会先祖供養

(9時～15時)

◇3月26日 蓮の植え替え

(午後2時～)

◇4月8日 花まつり

(午前10時～)

◇4月16日 死の体験旅行

(14時～16時)

◇6月17日 お大師講

(午前10時～)

◇7月16日 死の体験旅行

(14時～16時)

◆月例行事

■写経写仏の会

・第1日曜 午後3時～

■坐禅会

・第3水曜 午後7時30分～

■お寺ヨガ

・第4水曜 午後7時30分



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL 0858-55-7063 fax 0858-55-7064

メール inoterai@gmail.com

facebook : 井上英之 清元院

清元院 琴浦

検索



清元院 HP